

平成28年度 公共事業再評価調査

基準年月日 平成28年8月1日

Table with 4 columns: 調査番号 (08-04), 所管部 (建設部), 作成責任者 (建設部土木局河川砂防課長 北谷 啓幸), 担当グループ (河川計画G(内) 29-323)

I 基本事項 (基準日時点)

Main project details table including 事業種別 (広域河川改修事業費), 事業費 (22,470 million yen), 事業概要 (厚沢部川区間), 事業目的・目標, 工事費内訳, and 総合計画での位置付け.

II 計画変更

(単位: 百万円)

Table showing project changes with columns for 事業期間, 事業着手, 建設着手, 変更年度, 完了予定, 経過年数, 総事業費(a), 道負担額, 当該年度事業費, 累積事業費(b), and 進捗率(b)/(a).

変更理由・内容

変更①: 事業費の増 ~ 基栄橋の基礎形式及び上部工の変更、仮橋工の増による。
変更②: 事業費の増 ~ 資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による。
事業期間の延伸 ~ 残事業の施工期間を精査したことによる。

III 事業着手前の状況

Table detailing pre-project status with 4 main sections: 1. 事業着手に至る経過と背景, 2. 事業検討の際の手続き, 3. 事業が効果を及ぼす地域・対象, 4. 関連する事業.

IV 事業の実施状況

Table showing implementation status with sub-sections (1) 事業計画及び実績 and (2) 進捗状況, including a Gantt-style chart for construction items and a summary of progress.

	経済効果の内訳（百万円）		費用の内訳（百万円）		B/C	備考
	項目	H28現在	項目	H28現在	H28現在	
2.事業効果	洪水被害防止効果	176,073	事業費	28,442	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「治水経済調査マニュアル（案）」（国土交通省H17）に基づき算出</li> <li>●効果及び費用は、「整備期間十完了後50年間」で算出</li> <li>●効果及び費用は、H28に現在価値化した値</li> <li>●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。</li> </ul>
			維持管理費	288		
	合計（B）	176,073	合計（C）	28,730		
3.コスト縮減などの取組み	取組の項目	取組内容			縮減額（百万円）	
	施工の最適化	工事で発生したコンクリート殻をかごマット等の中詰材へ再利用			15	
<b>V 評価</b>						
1.必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本事業は、厚沢部町富栄地区・江差町柳崎地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。</li> <li>● 事業着手後もH9年8月（家屋20戸、農地631ha）、H10年5月（家屋11戸、農地8ha）、H22年8月（家屋5戸、農地3ha）、H25年8月（家屋19戸、農地20ha）に浸水被害が発生。</li> <li>● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。</li> </ul>					
	a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する      b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある				
2.事業を推進する上での課題	<b>(1) 環境上の配慮及び課題</b>					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 魚類などに配慮し、現況河床を極力保全している。</li> <li>● 河畔林を極力保全している。</li> </ul> ※ 再評価（H23年）以降の状況変化はない。					
	<b>(2) 事業推進に対する住民の動向</b>					
3.事業達成の見込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 厚沢部町、江差町から事業の早期完成に向けての要望が出されている。</li> </ul> ※ 再評価（H23年）以降の状況変化はない。					
	<b>(3) その他の課題</b>					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特になし</li> </ul> ※ 再評価（H23年）以降の状況変化はない。					
4.対処方針	事業期間の延伸後、事業は概ね予定どおりに進捗しており、今後の事業実施にあたっては、特に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。					
	a	a：十分達成が見込まれる      b：課題はあるものの達成は可能である      c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される				
4.対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、平成38年度の完成を目指し、事業継続する。					
	a	a：継続      b：終了      c：休止      d：中止				
	事業期間の変更の有無	有	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無 左記以外の変更 無
<b>VI 備考</b>						
1.評価履歴	事前評価：                      年度実施                      評価結果：                      B/C： 再評価：   平成23年度実施                      評価結果： 継続（変更なし）                      B/C：7.07					
2.その他の取組み事項	● 特になし					

# 補足資料

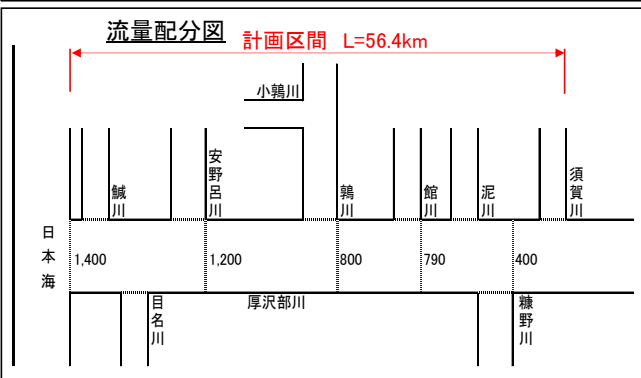
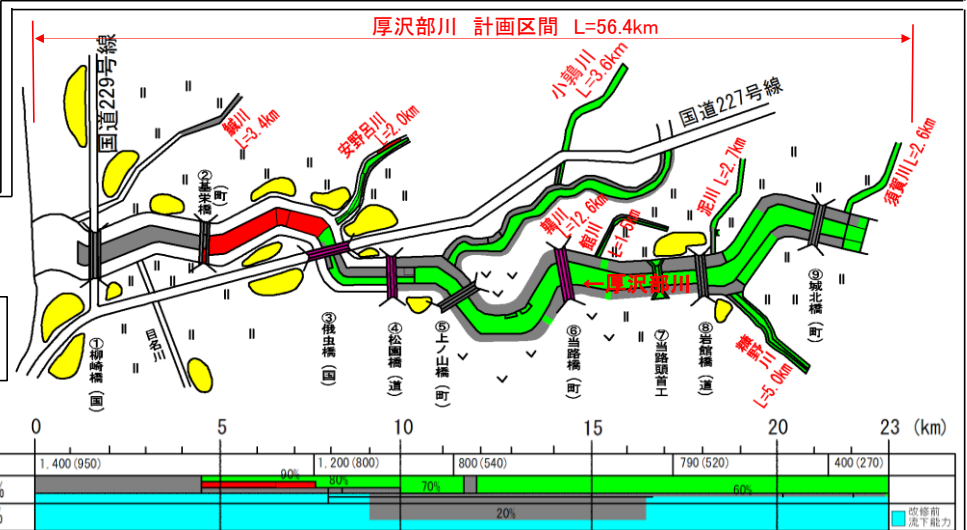
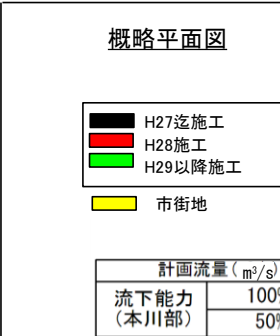
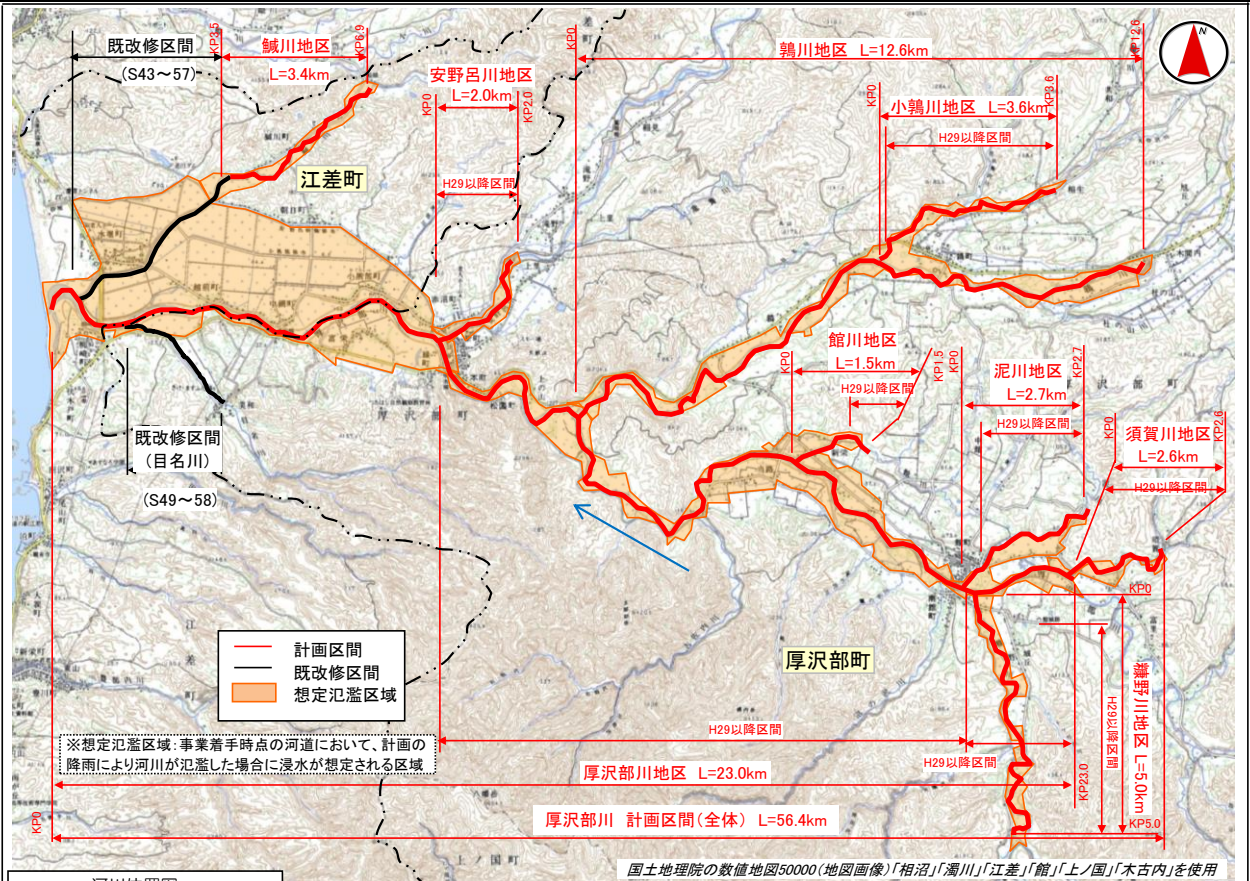
## Ⅱ 計画変更

(単位：百万円)

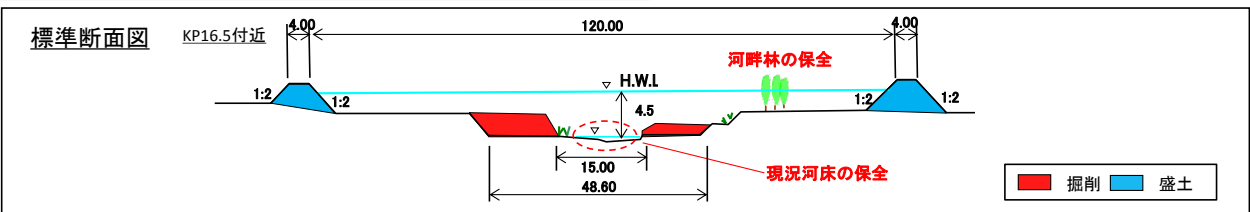
事業期間	事業着手	建設着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	当初	H9	H10	H29			20,000	9,000			
変更①			H23	H33		20,000	9,000				
変更②			H24	H33		20,675	9,304				
変更③			H28	H38		22,470	10,111	534	13,985	62%	
変更④					20						

<b>変更理由・内容</b>	<p>変更①：事業期間の延伸 ~ 用地買収において、相続人がおり用地交渉に時間を要したことなどによる。</p> <p>変更②：事業費の増 ~ 基栄橋の基礎形式及び上部工の変更、仮橋工の増による。</p> <p>変更③：事業費の増 ~ 資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による。</p> <p>事業期間の延伸 ~ 残事業の施工期間を精査したことによる。</p>
----------------	--

事業名	広域河川改修費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	あつさぶがわ 厚沢部川	採択年度	H9
-----	--------------------------	-----	----------------	------	----

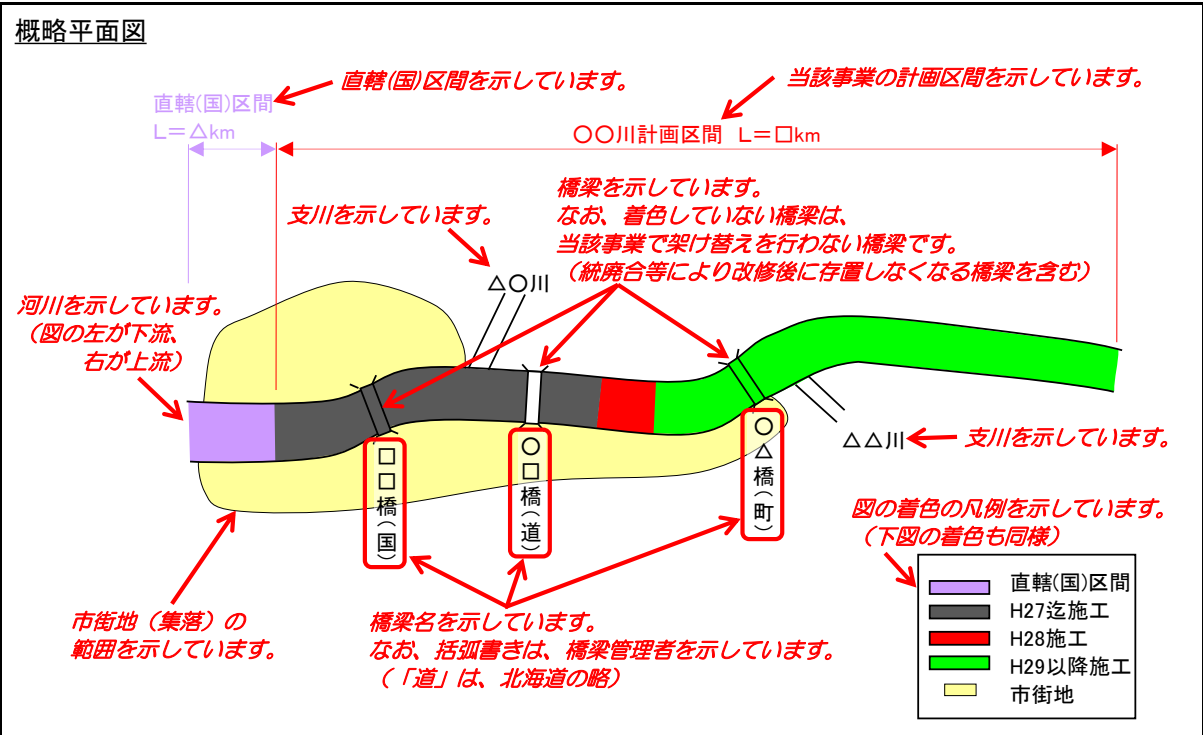


計画諸元	
流域面積 (km <sup>2</sup> )	491.7
計画延長 (km)	56.4
想定氾濫面積 (ha)	2,580
計画雨量	160 mm/24hr
計画高水流量 (m <sup>3</sup> /s)	1,400
計画勾配	1/1800~1/235

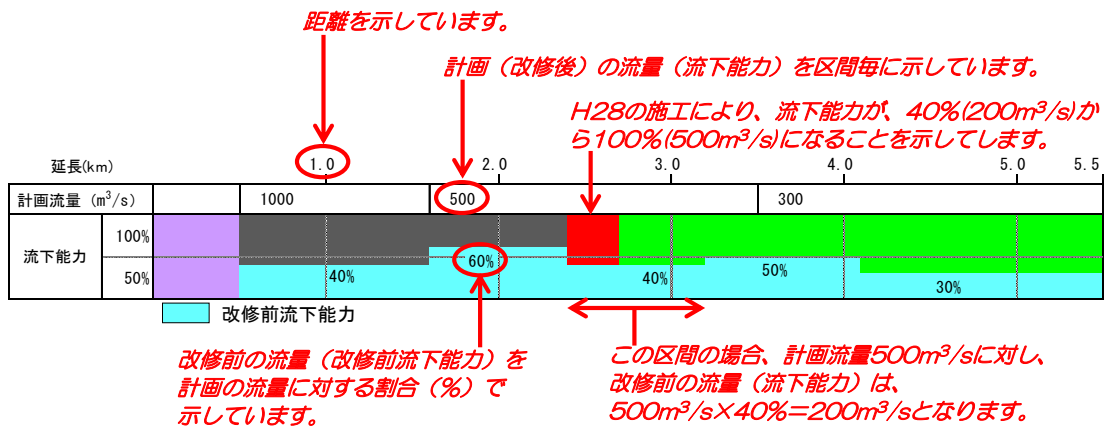


# 事業概要図（河川事業<sup>\*</sup>）の概略平面図の解説

図の解説を赤字斜体文字で表示しています。



下の略図は、河川で流すことのできる洪水の量(流量)を模式的に示したものです。



## コスト縮減などの取り組み 「工事で発生するコンクリート殻を護岸の中詰め材へ再利用」の解説

再利用の考え方を緑色文字斜体で表示しています。

